

番組上映会 & 公開セミナー

『今、福島から伝えること～3・11 大震災・福島原発事故を忘れない!～』

番組上映会 番組概要・上映スケジュール 3/11(火)～30(日)

※印は、公開セミナーの登壇者関連番組

(a) 『NNN ドキュメント ‘13 3・11 大震災シリーズ

今、伝えたいこと(仮) 福島女子高生の叫び』福島中央テレビ 2013年2月3日放送 25分
 原発事故以来、非情なネットの書き込みが被災地の若者を苦しめた。原発から45キロの相馬高校では、思いの丈を伝えた演劇は、観客の胸に突き刺さっていく。

(b) 『農業をあきらめない ～旧警戒区域の農家たち～』福島放送 2013年1月26日放送 26分
 第50回ギャラクシー賞放送活動部門優秀賞

南相馬市小高区の農地は、原発事故後に警戒区域に指定され一年以上も放置された。海水の被害と灌漑設備も壊滅した中でもあきらめない農家の人々を描く。

(c) 『キ・ポ・ウ～全村避難 福島県飯館村二年の記録』※

福島テレビ 2013年2月11日放送 50分 平成25年日本民間放送連盟賞テレビ教養番組最優秀
 避難区域の飯館村の村長は「災害は人々を団結に向かわせるが、原発事故は人々を分断させる」と語る。先の見えない不安に揺れ動く村民たちを追う。

(d) 『それでも希望のタネをまく ～福島農家2年めの試練～』※

テレビユー福島 2012年12月3日放送 50分 第28回農業ジャーナリスト賞
 福島原発から約50キロに位置する二本松市東和地区で有機農業に取り組んできた農家では、土が放射性物質で汚染された現実と向き合う。福島農家の姿を追う。

(e) 『NHKスペシャル メルトダウン File 3 原子炉“冷却”の死角』※

NHK 2013年3月10日放送 58分 第39回放送文化基金賞本賞
 原発事故の教訓はどこまで生かされているのか。国内外の専門家とともに、証言に基づく再現映像やデータに基づくCGを駆使して検証する。

(f) 『放射線を浴びたX年後』 ※映画版特別上映

南海放送 2012年1月29日放送ほか 83分 平成25年日本民間放送連盟賞「放送と公共性」最優秀、
 第50回ギャラクシー賞放送活動部門大賞、他多数受賞
 ビキニ水爆実験には第五福竜丸以外の「被ばく」の重大事件があった。長期取材で追う、3・11後の日本に投げかける衝撃の告発。放送番組の総集編として、全国で自主上映し話題となった映画版を上映する。

【上映スケジュール】

日曜	上映タイプ	日曜	上映タイプ
3/11火	A	3/21金	A
12水	B	22土	B
13木	A	23日	A
14金	B	24月	休館
15土	A	25火	A
16日	B	26水	B
17月	休館	27木	A
18火	B	28金	B
19水	A	29土	A
20木	B	30日	B

■ 上映番組・上映開始時間※アルファベットは番組内容

Aタイプ

10:30～(a)
 11:00～(b)
 11:40～(c)
 【昼休憩12:30～】
 13:00～(d)
 14:00～(e)
 15:10～(f)

Bタイプ

10:30～(e)
 11:40～(f)
 【昼休憩13:05～】
 13:30～(a)
 14:00～(b)
 14:40～(c)
 15:40～(d)

* * * * *

◆放送ライブラリー(運営:公益財団法人 放送番組センター)

テレビ・ラジオ番組、CM、ニュース映画など3万本を一般公開しています。また、放送の歴史やしくみを紹介する展示、アナウンサーやリポーターの体験ができるニュース・スタジオも設置されています。